

下肢静脈瘤手術 入院診療計画書

主治医 (中山/黒崎/須郷)

下肢静脈瘤とは・・・

下肢の血液は、足の運動によって心臓に戻っていきます。また静脈には、血管の逆流を防ぐ為の弁がついていて、血液が重力に負けて下へ引かれ逆流しないようにくいとめています。この逆流防止弁は、足の付け根や膝の裏など、太い静脈血管の合流部で壊れやすく、これが原因で血液は逆流し、足の下のほうに血液がたまり、静脈がこぶのように膨らむのです。

症状・・・

- 足の血管が浮き出て見える
- 足がむくむ、痛い、だるい、重い、疲れやすい
- 足に熱感があったり、しばしば足がつる
- 足がかゆい、治りにくい湿疹ができたり、皮膚が黒ずんでみえる
- 足に潰瘍ができる(皮膚が破れて出血がある)

★手術の後に着用する弾性ストッキングについて

医師の指示に従って、売店で購入してください

注文から売店に届くまで2～3日要しますので、手術当日の3日前までに注文し、持参して下さい

外来で手術日を決定したら、売店に注文して帰り、当日受け取ることをお勧めします

手術後の管理

弾性ストッキングは、約1ヶ月は着用してください(入浴時と寝るとき以外は履いてください)

38.0度以上の発熱や、痛みが強くなる、傷から出血するなどの症状が出現した場合は外来を受診してください

傷には防水テープを貼ります
入浴時も貼ったままにし、こすったり、無理にはがしたりしないでください
テープがはがれた場合は市販の絆創膏をはってください

sugou	入院前日まで	手術前	手術後	1日目 退院
月日			/	/
安静	自由	手術まで自由	麻酔が覚めたら歩行できます	
清潔	前日の夜は入浴してください 	歯磨き・洗面は行ってください		入浴できます 傷は強くこすらないようにしてください 
食事	夜の10時以降は食べたり飲んだりできません	朝起きてから、食べ物やの飲みものは何もとらないでください	麻酔が覚めたら水分が飲めます 夕から食事ができます 	
処置		外来で手術する足の静脈瘤をマーキングします 手術用の着物に着替えます	酸素マスク・心電図をつけます	午前中、医師の診察があります 防水テープに貼り替え、弾性ストッキングをはきます
観察		入院したら血圧・体温をはかります	手術の後はこまめに血圧をはかります 	
トイレ	自由	手術まで自由	麻酔が覚めたらトイレに歩きましょう 初回はふらつく恐れがありますので、看護師が付き添います	
検査	血液検査 レントゲン 心電図 肺機能 	当日はありません		必要に応じて血液検査・レントゲン撮影をします 
注射		点滴をします 手術室には点滴をしたまま行きます	手術の後も点滴はしますが、終わり次第点滴の針は抜きます	
飲み薬	<input type="checkbox"/> 続けて飲んでください <input type="checkbox"/> 睡眠薬を常用している場合は飲んでゆっくり休んでください <input type="checkbox"/> 医師に中止するよう指示があった場合は指示に従ってください	指示された薬は少量の水で飲んでください	夕方から痛み止めの薬を飲みます 	
患者さんとご家族への説明	手術に必要な物 <input type="checkbox"/> バスタオル 2枚 (できるだけ無地のもの) <input type="checkbox"/> 弾性ストッキング (中圧のもの) <input type="checkbox"/> 弾性包帯 (売店で購入してください) 入院生活に必要なもの 洗面道具 湯のみ はし・スプーンなど スリッパ	入院生活の説明をします 手術同意書、手術に必要な物をお預かりします 貴金属・時計・入れ歯ははずしてください 時 分に歩いて手術室へ行きます 30分前にトイレを済ませておいてください	手術の後は、麻酔が覚めたら水分をとったり、トイレに歩くことができます 痛い時は我慢しないで、看護師に知らせてください 	退院おめでとうございます 次回の診察は 月 日です 診察券と退院証明書をお渡しします 